

総務委員会議事録

1. 日 時 令和4年5月16日(月) 14時～15時10分

2. 場 所 春日井商工会議所 1階 大会議室

3. 出席者数 委員長 1名

委 員 16名

アドバイザー 1名

オブザーバー 1名

事務局 8名

合 計 27名

4. 議 題

1. 2021年度事業報告並びに一般会計、特別会計収支決算について
2. 春日井市への意見要望について
3. 商工会館検討委員会の設置(案)について
4. その他

5. 議 事

課 長 伊藤 伊月

定刻に至り、開会を宣し野村委員長に挨拶を求める。

委 員 長 野村 浩司

挨拶を述べる。

課 長 伊藤 伊月

今年度より、新しく委員会に参加する青年部岡本会長並びに伊藤専務理事、女性会森会長、市産業部森本部長を紹介。また事務局体制の変更に伴う職員を紹介。

課 長 伊藤 伊月

委員会規程により、議長に野村委員長を指名し、議長就任を要請する。

(委員長 議長に就任)

議 長 野村 浩司

議事に入り、議題1. 2021年度事業報告並びに一般会計、特別会計収支決算について事務局に説明を求める。

事務局次長 白木 芳洋

事業報告書に基づき、事業方針、主な実施事業について成果及び結果を報告。

課 長 伊藤 伊月

続いて、各会計の説明・収支決算書の内容を説明。

議 長 野村 浩司

議題1. について、各委員に質問・意見を求めるも特にないため、続いて議題2. 春日井市への意見要望について事務局に説明を求める。

事務局次長 白木 芳洋

春日井市への意見要望について、資料を基に説明。新型コロナウイルス感染症対策を中心とした内容で、6月に新市長に対して行うものとなる旨説明。

議 長 野村 浩司

議題2. について、各委員に質問・意見を求めるも特にないため、市産業部森本部長に意見を求める。

オブザーバー 森本 邦博

要望事項については、市で検討できるもの、国へ働きかけるものなど、しっかりと対応をしていきたい。いずれにしても新市長の意向を確認しながら進める形となるため、正式な意見要望をいただいた後、調整を図っていきたい。

議 長 野村 浩司

続いて議題3. 商工会館検討委員会の設置（案）について、事務局に説明を求める。

事務局次長 白木 芳洋

商工会館検討委員会の設置（案）について、資料を基に説明。老朽化が進む商工会館の在り方、建設計画のある市役所東庁舎への入居を含めた市産業部との連携による企業支援体制などを検討し、令和4年11月に提出する要望書を取りまとめる専門委員会となる旨説明。

議 長 野村 浩司

議題3. について、各委員に質問・意見を求める。

委 員 峠 貴斗

これまで各行政に意見要望を出しても叶わないケースが多々あるが、本件については確実に市役所東庁舎へ入居できるような提案をしなくてはならないため、春日井市の意向に沿った委員会活動を求めたい。

議 長 野村 浩司

続いて、議題4. その他について各委員会からの報告を求める。

委 員 三上 努

事業継続・新事業創出委員会は、5月18日に第1回委員会を実施。前年度

事業をベースにしながらかセミナーの開催、青年部、女性会と連携した事業の発掘を行っていく。

委員 針尾 智子

青年部とは事業承継に関すること、女性会とは起業女子支援事業を中心に連携して進めていくこととなる。

委員 峠 貴斗

雇用促進・人材育成委員会では、これまで新卒者採用に目を向けてきたが、中途採用にも力を入れて事業展開をしていく。また全委員がキーパーソンになるため、全委員が広く意見が出せる環境を作り出していきたい。

委員 服部 律子

既存事業中心で計画が進んでいるため、新規事業の創出についても積極的に検討していきたい。

委員 安藤 宜史

企業間交流・産学連携委員会では、ビジネスフォーラムの在り方についてなかなか結果が出にくい状況であるため、コロナの終息とともに各地で開催されている大規模展示会に参加することを検討している。また市内取引を活発にするため、市内企業同士の取引でつかえる補助金制度の提案についても前向きに検討していきたい。

委員 三尾 友貴美

市外に外注に出しているものを、市内発注に変更した場合の補助金制度創設について市に確認をしたが、前例がなくやりにくいという回答であったため、森本部長にお力添えを願いたい。

委員 今川 昇

生産性向上・業務効率化委員会では、IT導入補助金を活用した業務改善セミナー、中小零細企業でも取り組むことができるDXセミナーを開催。また会員事業所の先進事例視察について、大社会頭の事業所であるナビエース(株)に視察受入の内諾を得たため、夏秋頃に開催する予定である。

委員 山田 純

活力あるまちづくり委員会では、4月29日から落合公園のサウンディング事業を青年部と連携して進めている。多くの市民に公園を利用していただき賑わっている反面、課題も多々見え始めているため、今後委員会で協議していきたい。

委員 奥村 久子

組織拡大委員会では、会員数4,300社、組織率41.5%を目標としている。令

和4年3月末時点では229件加入、脱退121件、108件の純増となり合計会員数4,296社となった。また、229件加入の中で会員からの紹介が60件ほどあったため、引き続き紹介をお願いするとともに、令和4年10月までに目標会員数4,300社を達成できるよう活動をしていきたい。

議長 野村 浩司

続いて、青年部、女性会からの報告を求める。

委員 岡本 博貴

青年部は、予算もしっかりと取っていただき、非常に多くの事業を実施させていただいている。今後も商工業の発展に寄与できる活動をしていきたい。

委員 伊藤 大介

青年部会員数が史上最大の140名を超える団体になってきている。メンバー自身が事業承継をしていく年齢層であるため、商工会議所の各委員会などとも連携しながら活動をしていきたい。

委員 森 裕美

女性会は世代交代などがあり30代～80代までの幅広い年齢層で活動しているのが強みである。令和4年度は昨年40周年時に掲げたテーマ「起業女子を応援する」事業を検討し、令和5年度に実行していきたい。また他団体と連携し、各団体の強みを活かした事業展開もしていきたい。

議長 野村 浩司

続いて、その他報告事項について事務局に説明を求める。

課長 蟹江 貴昭

斎藤中小企業応援ファンドの申込状況について、資料を基に説明。

書記 松井 幸太

今から始める健康経営について、資料を基に説明。

事務局次長 白木 芳洋

役員議員19期の任期は令和4年10月で終了するが、11月以降も20期の役員議員として引き続きお願いしたい旨依頼。

議長 野村 浩司

以上で議案を終了し、アドバイザーへ意見を求める。

アドバイザー 大嶽 成功

中部大学は市内唯一の総合大学で、愛知県の中でも3番目の規模になる中で、令和3年度の就職率は99.8%を達成。2,000人以上の卒業生を出す大学の中では全国でも非常に良い就職率となっている。新たに理工学部を設置する動きが

あり、AI 数理データサイエンスプログラムや、SDGs 学際専攻を準備し、学長認定資格を付与した卒業生を輩出するもの。必要とされる数多くの卒業生を輩出し、春日井市にも貢献できるようにしていきたい。

議 長 野村 浩司

続いて、木野瀬副会頭に挨拶を求める。

副 会 頭 木野瀬 吉孝

中部大学は市の財産であるためもっと活用をすべきである。現在、経営情報学部と連携して春日井 PAY（地域デジタル通貨）の実証実験を予定している。また市役所東庁舎の話が具体化してきているが、単に商工会議所が入居するというわけではなく、市の産業振興に貢献し、企業支援体制機能を持たせる場所として提案ができるよう今後検討していくべきである。

議 長 野村 浩司

本日の総務委員会の閉会を宣す。

課 長 伊藤 伊月

副委員長より挨拶を求める。

副委員長 奥村 久子

挨拶を述べる。組織拡大委員会では会員メリットを打ち出して加入促進に力を入れている。各委員会が企画・運営する事業がそのまま会員メリットに繋がっていくため、今後も活発な委員会活動をお願いし、閉会の挨拶とする。

時に、15時10分